みなまた 市議会だより

第102号
令和7年5月1日
編集 みなまた市議会だより編集委員会
発行 水俣市議会
電話61－1661
http://www.city.minamata.lg.jp
E-mail:gikai@city.minamata.lg.jp

七十七夜のみなまた茶
今年もおいしくできました

GREEN PRINTING JFPI
F-B10284
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

3月定例会の報告

令和7年度一般会計予算・条例改正などを可決

令和７年第１回定例会が２月27日（木）から３月19日（水）まで21日間開かれ、
令和７年度予算及び条例の制定・改正などの議案が提出され、審議を行いました。

条例の制定

厚生文教委員会

●水俣市こども基金条例

誰もが安心してこどもを産み育てられ、こどもたちが地域で育まれ、幸せに成長できる環境づくりの充実を図るため、寄附金等を財源とする基金を設置するものです。

条例の一部改正

総務産業委員会

●水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の税率及び賦課方式の見直しに伴い、令和８年４月からの国保税引上げのため制定するものです。

●水俣市体育施設条例の一部を改正する条例

水俣市立総合体育館小アリーナの空調設備について、冷暖房の使用料の額を定める必要があるため制定するものです。

●水俣市旅費支給条例の一部を改正する条例

昨今の宿泊料金の高騰に対して、本市の旅費の支給基準の見直しを図るものです。

厚生文教委員会

●水俣市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

総合医療センターの病棟改修により、病床数を３６１床から３４９床に減少するものです。

●水俣市文化会館条例の一部を改正する条例

今年７月から文化会館の使用料引上げのため制定するものです。

スタンフォード大学閉講式

主な当初予算

総務産業委員会

・袋インター関連道路改良工事　２２７２万円
・牧ノ内・大迫線道路改良事業　８０５５万円
・公共住宅整備事業（洗切団地改修・牧ノ内団地建替等）　８１９７万円
・コミュニティバス等運行事業　１億４６６５万円

●「世界へつながる水俣」推進事業

・グローバル人材育成事業　１２８２万円

スタンフォード大学のＳＰＩＣＥプログラムによる「Stanford e-Minamata」を実施するもので、水俣高校生を対象としたオンライン講座を行うものです。

・トップセールス
358万円
台湾との交流強化のため、現地訪問や交渉、PR活動を実施するものです。

・国際交流
643万円
地域日本語教室、サポーター養成講座、英会話教室を実施するものです。姉妹都市デボンポート市との交流も継続します。

・スポーツ国際交流
750万円
第50回記念みなまた競り舟大会に台湾チームを招待し、優勝チーム（競り舟協会所属チームに限る）に台湾ドラゴンボート大会への参加資格を授与します。

●「活力生まれる水俣」推進事業

・湯の児温泉開湯100周年事業
358万円
記念イベント等を開催します。

・観光プロモーション強化事業
947万円
湯の児・湯の鶴温泉などの魅力を発信します。

・地域商工業振興
4847万円
空き店舗等の活用や商店街支援、デジタル導入（DX）支援など、にぎわい創出に向けた複数補助金を実施します。

・観光振興推進体制強化
790万円
地域活性化起業人制度を活用し、観光商品の造成・販売等の観光企画事業を実施します。

・湯の児地域魅力化推進
415万円
さかなクンと連携したPR、湯の児地域の再整備に向けた構想を推進するものです。

・スポーツコミッション事業
630万円
大会・合宿等の誘致や支援を行い、交流人口拡大を図ります。

・みなスポプロデュース事業
642万円
スポーツプロデューサー（地域おこし協力隊）を委嘱し、水俣ユニオンFCWの活動やスポーツ振興・地域活性化を図るための取組を支援します。

●「選ばれる水俣」推進事業

・水俣市公式LINE活用推進
109万円
LINE「ショップカード」機能を活用し、イベント参加によるポイント付与事業を実施します。

・プログラミング人材育成
734万円
地域活性化起業人制度を活用し、専門家によるプログラミング教育を推進します（コンテスト出場支援も含む）。

・移住定住推進
3329万円
既存施策の拡充に加え、「関係人口創出」を目的とし、江口寿史氏とコラボしたファンミーティングを東京で開催するものです。

・結婚支援
680万円
婚姻に伴う住宅取得・入居・リフォーム・引っ越し費用等を補助するものです。

・産業人材育成
655万円
半導体人材育成研修に関する宿泊・教材・交通費の補助制度を実施します。

●「外貨を稼ぐ水俣」推進事業

・稼げる水俣農業推進事業
672万円
農産物集荷、農業用施設、種苗導入、新技術・ブランド導入など、9事業を包括支援するものです。

・事業者支援
750万円
市場開拓、新商品・新技術開発、販路拡大の3補助金を実施します。

厚生文教委員会

●窓口業務のデジタル化推進
1026万円
キャッシュレス対応のセミセルフレジ及び「らくらく窓口」サービスの導入とコンビニ交付システム運用に関するものです。

●小中学校施設耐震化工事
1億319万円
二小校舎外壁等改修工事

●小中学校施設整備工事
7477万円
一小旧校舎解体・駐車場整備費用及び袋小ワークスペース空調設備更新工事

●発掘調査測量等業務委託料
1895万円

●陣内官軍墓地通路復旧工事
826万円

●文化会館トイレ改修工事
2840万円

●文化会館非常用発電機等更新工事
4385万円

●給食センター整備工事
3163万円
蒸気ボイラー及び温水発生機など、老朽化した施設の更新工事を行うものです。

●学校給食費補助金
3086万円
小中学校の給食費について、月額補助を1人当たり1000円から1500円に増額。また、在籍している児童生徒の第2子は半額、第3子以降は無料にするものです。

陳情

●介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める陳情
（継続審査）

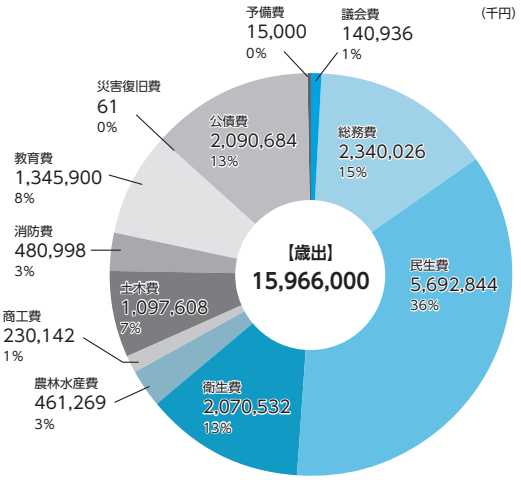
人事

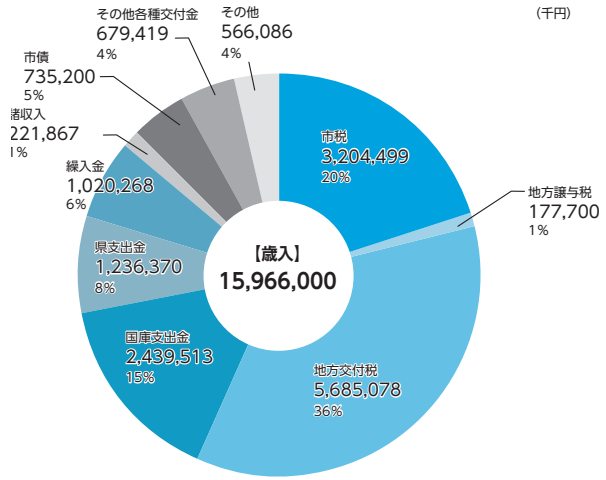
●教育長の任命について
蓑田　誠一氏（八代市二見洲口町）

【令和７年度会計別当初予算】

（千円）

一般会計予算	15,966,000	水道事業会計　収益的収入	429,287
国民健康保険事業特別会計	3,371,240	水道事業会計　収益的支出	403,083
後期高齢者医療特別会計	553,537	水道事業会計　資本的収入	216,821
介護保険特別会計	3,760,913	水道事業会計　資本的支出	539,653
病院事業会計　収益的収入	8,352,562	公共下水道事業会計　収益的収入	837,507
病院事業会計　収益的支出	8,349,185	公共下水道事業会計　収益的支出	834,656
病院事業会計　資本的収入	234,454	公共下水道事業会計　資本的収入	242,855
病院事業会計　資本的支出	892,316	公共下水道事業会計　資本的支出	512,296





《市議会における条例及び規則の一部改正》

●水俣市議会会議規則の一部を改正する規則の制定

地方自治法改正に伴う標準市議会会議規則の改正に合わせて、議会における手続について情報通信技術を利用した方法により行うこと、またオンラインによる方法により委員会等を開催することを可能とするために必要となる共通の事項を定めるほか、電子表決システムの仕様の変更による表決方法の見直し及び文言等の整理を行うことについて規定するために制定するものです。

●水俣市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

オンラインによる方法により委員会を開催することを可能とするために必要となる共通の事項を定めるほか、文言等の整理を行うことについて規定するために制定するものです。

賛否の分かれた事案

議案の審議結果

議案	会派	真志会					光政会		自民新未来		I's水俣		日本共産党		公明党	こども未来会	参政会	結果
	議員名	杉本康宏	木戸理江	小路貴紀	桑原一知	真野頼隆	松本和幸	岩村龍男	森川武治	田口憲雄	杉迫一樹	藤本寿子	高岡朱美	平岡朱	牧下恭之	吉野誠	肥山美緒	
議第10号　水俣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛成：13 反対：2 により可決
	（反対討論） ● 令和８年４月からの国保税引上げを目的とした条例改正案であり、物価高で市民生活が目に見えて悪化していることに加え、逃れようのない税の負担増によってさらに市民を苦しめることになる本条例には賛成しかねる。国庫負担の増額をこれまで以上に強く求め、この苦しい時期に保険料を上げることは避けるべきと考える。																	
議第16号　水俣市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	賛否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛成：13 反対：2 により可決
	（反対討論） ● 「公共施設」には、誰もが気軽に地域活動や文化活動に参加できる機会を提供するという役割があり、市場動向に合わせた安易な料金改定はすべきではない。このような時だからこそ市が積極的に利用しやすい条件を整え、市民の自発的活動を促し、文化の高揚に努めるべきである。																	

【令和６年度会計別補正予算】

（千円）

会　計　名	補正額	補正後の額
一般会計（第11号）（専決）	163,908	17,577,082
一般会計（第12号）	1,012,788	18,589,870
国民健康保険事業特別会計（第３号）	8,486	3,561,794
後期高齢者医療特別会計（第４号）	△8,847	523,384
介護保険特別会計補正（第５号）	34,679	3,805,973
病院事業会計（第２号）　収益的収入	60,525	8,147,994
病院事業会計（第２号）　収益的支出	50,119	8,117,078
病院事業会計（第２号）　資本的収入	2,409	1,409,653
病院事業会計（第２号）　資本的支出	2,456	2,236,074
公共下水道事業会計（第３号）収益的収入	17,925	864,984
公共下水道事業会計（第３号）収益的支出	17,925	864,984
公共下水道事業会計（第３号）資本的収入	△2,666	156,848

主な補正

総務産業委員会

●防災資機材等消耗品費

２１６４万円

令和６年度の国の補正予算で国が創設した交付金を活用し、避難所に簡易ベッド、パーテーションなどを購入するものです。

●都市公園ＬＥＤ化工事他

２９７万円

厚生文教委員会

●省エネ家電製品買換え促進補助金

２０００万円

●低所得者支援給付金

１億３２００万円

①本市に住民登録があり、世帯全員が令和６年度住民税非課税世帯に対し１世帯当たり３万円の給付金を支給するものです。

●低所得者支援こども加算給付金

６００万円

①の同一世帯に18歳以下の児童がいる世帯に対し、児童１人当たり２万円を支給するものです。

●水俣病資料館収蔵庫増設工事他

１億１７４３万円

水俣病資料館収蔵庫の第２期工事（主に内装やエレベーター設置）に係る費用です。

みなまた市議会だより第101号（２月１日号）の掲載内容について

市議会だより第１０１号（２月１日号）の「陳情・決議」についての問合せが寄せられたため、補足いたします。

●「陳第５号　松本和幸市議会議員の行為が水俣市政治倫理条例違反に該当するかどうか水俣市議会の調査を求める陳情」が、審議未了となったことについて

本陳情は、水俣市議会に、政治倫理条例に基づく調査を求めるものでしたが、この調査は、条例・規則に基づく所定の手続が必要なため、陳情のみをもって調査することはできないことを確認しました。よって、本陳情は、議会において【採択・不採択】を決することのできる案件ではないとの結論に至り、「審議未了」と決することになったものです。

その後については、３月３日、市民団体から松本和幸市議に政治倫理条例違反の疑いがあるとして「政治倫理審査会」を設置し調査を求める請求が提出されました。

●「決議第１号　杉迫一樹議員に対する問責決議」の内容について

「陳第５号」の委員会審査の中で、秘密会として審査が行われたものに関し、守秘義務のある情報の取扱いは、慎重に行う必要があることを委員全員で確認したにもかかわらず、議事や発言内容から、外部関係者と思われる市民を特定し接触を図るなど、不適切な行為が行われたことに対し、問責を決議したものです。

トピックス

水俣市スポーツ功労等表彰受賞者合同祝賀会　（２月14日、あらせ会館）

本市のスポーツ振興に、競技者、指導者、役員等様々な立場で多大な功績をあげられた方々に感謝しお祝いする祝賀会が開かれ、高岡市長とともに岩村議長も出席、祝辞を述べました。

第52回市民駅伝競走大会　（２月23日、エコパーク水俣陸上競技場）

水俣の春の一大スポーツイベントである市民駅伝競走大会。第52回となる今大会には、地域の部、職域・中高生の部、キッズの部に計61チーム、749人が参加。市議会も選抜メンバーを投入、結果はさておき、参加者の皆さんと一緒にさわやかな汗を流しました。

水俣・芦北地区自衛隊入隊予定者合同激励会　（３月８日、水俣市役所３階大会議室）

水俣・芦北地区から新たに入隊予定の５人の方々の激励会が自衛隊家族会の主催で開かれ、１市２町の首長、議長も出席、新入隊員の活躍を願いました。

第２回みなまたモルック大会 in エコパーク水俣　（３月23日、エコパーク水俣）

大人も子供も初心者でも楽しめるモルック大会が昨年１月の好評を受け、第２回大会が開催されました。53チームが参加する中、市議会チームも２チーム出場。真剣勝負あり、笑顔ありの楽しいひとときを過ごしました。

議会事務局辞令交付式　（４月１日、正副議長室）

令和７年度の人事異動があり、議会事務局に新しいメンバー２人を迎えました。円滑な議会運営のため、職員一丸となって頑張ります。

「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン　（４月10日、水俣市役所交差点付近国道３号線上）

交通安全協会や水俣警察署などと合同で啓発活動を実施しました。のぼり旗などを使って、交通安全への意識を高めてもらうよう呼びかけました。

常任委員会の報告

＊各常任委員会で交わされた主な質疑の内容です。

厚生文教

委員長:牧下　副委員長:木戸
岩村・小路・杉迫・田口・平岡・肥山

●議第19号　令和７年度水俣市一般会計予算中付託分

質疑—文化会館のトイレ改修工事の内容は
答弁—現在のトイレの数に対して洋式トイレが少ない状況であるため、主な改修内容は洋式化である。
質疑—自主文化事業の演目選定の基準は何か
答弁—様々な業者の提案等から偏りがないよう留意しつつ、市民にとって可能な限り安価で質の高いものを提供するという視点である。

質疑—令和６年度に完了した第二中学校屋根改修工事について、工事完了後も屋根から非常に大きな音が鳴り響いているが、教育委員会は今後どのように対応するのか
答弁—問題の報告を受けたのが３月だったため、今月中に業者と市担当者で打合せを行い、対応していく。

質疑—スクールソーシャルワーカーと水俣市子ども自立支援室指導員の業務の違いは何か
答弁—スクールソーシャルワーカーは、不登校等の問題を抱えている児童生徒のために、学校・保護者・各種関係機関との連携や調整を行い問題解決に努めるもの。水俣市子ども自立支援室指導員は、水俣市高齢者福祉センター３階に設けており、学校へ登校することが困難な児童生徒の居場所において支援を行っている。

質疑—戸籍住民基本台帳事務について、マイナンバーカードによる印鑑登録証明書の取扱いはどのようになるのか
答弁—マイナンバーカードで印鑑証明書の交付を受ける場合には、６桁以上の暗証番号の電子署名設定が必要。確認や手続に時間もかかり、設定していない人もいるため当面は印鑑登録証も必要と考えている。

質疑—遠方分娩施設交通費等助成金の内容は
答弁—ハイリスクの妊婦に対し、周産期母子医療センターまでの交通費及び近くで待機する場合の宿泊費を補助するものである。

総務産業

委員長:真野　副委員長:高岡
桑原・杉本・藤本・松本・森川・吉野

●議第19号　令和７年度水俣市一般会計予算中付託分

質疑—電気自動車の購入を予定しているが、経済性や環境性はガソリン車と比較してどうか
答弁—環境課保有の電気自動車が経年劣化で廃車となり、後継車として購入予定である。環境性能等については、これまでもすべての公用車について、ガソリン消費量と二酸化炭素排出量を記録しており、今後も記録を続ける。

質疑—水俣高校総合支援補助金の対象となる生徒はどのくらいいるか
答弁—肥薩おれんじ鉄道定期代補助の対象が約50人、半導体情報科へ進学する生徒への学用品購入補助の対象が８人である。

質疑—農産物集荷システム構築支援の状況は
答弁—山間部で野菜を生産している高齢者の生きがいづくりとして、販売先まで野菜を持っていく集荷を行い道の駅で販売する取組である。今年度は猛暑の影響で野菜が不作で今年２月に初めて集荷した。

質疑—袋インターの状況及び高速道路の進捗状況について
答弁—高速道路の開通時期は国土交通省からまだ示されていないが、進捗状況は当省ホームページを参照してほしい。アクセス道路については、高速道路工事の進捗に合わせて工事を進めている。

質疑—梅戸・明神線の整備状況について
答弁—県に対し市町村に代わって代行事業として行うことを要望し県で進めていく。エコパーク利用者が通行しやすくなるために、１年でも早く整備できるよう要望していきたい。

質疑—観光振興推進体制強化事業について、どのような形で人材を採用するのか
答弁—総務省の地域活性化起業人制度を活用し、首都圏等に所在する企業から人材を派遣してもらう。その人材を活用し即戦力となるような支援をもらい、みなまた観光物産協会の体制強化を考えている。

あなたの声を市政に

紙面から動画にリンク

各議員の写真の下の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。
※視聴の際のデータ通信料は利用者の負担となります。

●小路　貴紀
1．水俣高校の支援について
2．移住定住施策の支援拡充について
3．中心市街地の活性化について
4．スポーツを中心とした活力創出について
5．子育て世帯への支援拡充策について
6．上下水道事業について

●森川　武治
1．第八次水俣・芦北地域振興計画について
2．農業者の確保について

●平岡　朱
1．出生数の減少に伴う子育て支援について
2．多様な性を生きる人たちが暮らしやすい社会の実現について

●藤本　寿子
1．水俣市こども家庭センターについて
2．水俣の「自然」や「文化財」を生かした観光について
3．（仮称）肥薩ウインドファーム及び（仮称）出水ウインドファームによる大型風力発電建設計画について

●桑原　一知
1．台湾との交流について
2．湯の児開湯100周年と観光施策の方向性について
3．農業振興について
4．水俣市地域公共交通計画について

●高岡　朱美
1．令和７年度施政方針について

●杉迫　一樹
1．水俣ONSENプロモーションについて
2．総合体育館トレーニングルームの充実について
3．本市が管理している上下水道管の状況について

●吉野　誠
1．子ども・子育て支援事業計画について

●牧下　恭之
1．帯状疱疹ワクチンの定期接種化について
2．学校体育館の空調整備について
3．防犯カメラ設置補助について

●杉本　康宏
1．消防団について
2．ネーミングライツ事業の導入について
3．子供たちの学ぶ環境（学校）の整備について

令和７年度の新たな事業展開に期待膨らむ
街づくり、スポーツ、子育て、教育等の充実を

小路　貴紀 議員
（真志会）

水俣高校の支援について

問　新設の半導体情報科の入学予定者は

答　募集定員20人に対し、前期７人後期１人の予定である。

問　新たな支援の拡充策はどういうものか

答　半導体情報科に学用品助成、工業系及び商業系では資格取得合格者へ検定料助成、定期代の増額等である。

問　給食センター利活用策で、水俣高校への弁当配達はどうか

答　弁当配達は難しいが、30人程度の給食提供は可能と思われる。

問　水俣・芦北管内の中学校と水俣高校及びアスカインデックスと交流機会をつくっては

答　芦北町、津奈木町の中学校にも発信の機会が増やせるよう関係機関と協議したい。

問　市外入学者対応で、空き家活用による仮住まいの確保が必要では

答　整備の方法や家賃補助も含め関係先と協議を進める。

中心市街地の活性化について

問　エムズシティの活用も含め、重点的に取り組む施策は何か

答　空き店舗等を活用する意欲的な事業者への新たな補助制度、エムズシティの空きフロアは民間の力を後押ししつつ、本市も「中心市街地活性化プロジェクトチーム」にて公共施設の機能移転も含め検討している。

問　エムズシティ活用のスケジュールは

答　使用可能となれば、令和７年度に設計業務、８年度中の工事完了を想定している。

活用が期待されるエムズシティ

子育て世帯への支援拡充策について

問　新たな放課後児童の居場所づくりとは

答　民設学童クラブを１か所増設予定のほか、緊急対策事業として認定こども園２か所での実施を予定している。

問　乳幼児及び妊産婦の健康診査に関する新たな事業とは

答　乳幼児の１か月児健康診査時の費用助成等、また産婦事業では産後間もない健康診査費用、ハイリスク妊婦の遠方分娩施設交通費等助成事業等、母子保健の充実を図る。

問　給食費の大幅な補助拡充の内容とは

答　令和元年度実施の月額１千円から、1.5千円へ引き上げ、第２子半額及び第３子以降は無償とする。

上下水道事業について

問　上水道管及び下水道管の現状と老朽化対策の状況は

答　上水道管の法定耐用年数超過は約28㎞、下水道管の超過はなく、異常の場合は修繕補修や更新等を進めていく。

問　審議会設置の目的は何か

答　適正かつ健全な事業運営を図るため条例に基づき設置、令和９年４月の上下水道料金の値上げについて審議していただく。

工事の作業現場

その他

①新築住宅の建築等に際する住居取得支援補助金及び市産材利用促進事業に関する【移住定住施策の支援拡充】

②女子サッカーチーム「水俣ユニオン」支援策の地域おこし協力隊募集及び台湾との交流機会の創出に関する【スポーツを中心とした活力創出】について質問しました。

農業者の確保について

森川　武治 議員
（自民新未来）

第八次水俣・芦北地域振興計画について

問　現在の進捗と今後のスケジュールはどのようになっているのか

答　第八次水俣・芦北振興計画については、現在、県と1市2町が連携しながら策定作業が進められている。骨子となる基本理念・目標・施策の方向性をまとめた基本構想について策定作業中で、令和7年7月頃を目途に決定する見込みである。

問　市として取り組むべき課題は何か

答　本市最大の課題である人口減少と高齢化を見据え、水俣の社会と経済が持続するため、さらなる地域の魅力創出、交流人口の拡大、人材の確保・育成について、取り組んでいくべき課題と認識している。

問　第七次計画の成果と課題を踏まえ、市としてどのように関与していくのか

答　水俣・芦北地域振興計画は、県が中心となり、地域自治体と連携して策定する計画であり、本計画に基づき毎年実施している国、県に対する提案、要望活動により、必要な財源を確保し、本市が推進する地域振興に資する重要なものについては、引き続き第八次振興計画においても掲載いただくよう調整していく。

農業者の確保について

問　水俣市農業従事者および基幹作物である不知火、甘夏、サラダたまねぎの生産量および作付面積の推移はどうなっているか

答　農業従事者数については、平成7年の872人をピークに減少に転じ、令和2年は428人となっている。不知火については、平成26年には、作付面積87ヘクタール、生産量671トンだったが、令和5年には53.8ヘクタール、477.9トンと減少、甘夏については平成26年、140ヘクタール、2347トンであったが、令和5年には69.8ヘクタール、1056トンと半減している。

サラダたまねぎについては、JAあしきたサラたまちゃん選果場の出荷実績によると、平成27年には、45ヘクタール、825トンにまで減っている。

問　過去10年間において、水俣市の認定新規就農者のうち、柑橘類で就農した農業者はどれくらいいるのか

答　青年就農計画認定を受けた柑橘類で就農された方は平成26年度から10年で10人、現在も続けている人は9人となっている。

問　水俣市の新規就農者への支援はどのようなものを行っているか

答　水俣市では、認定就農者に対し、就農から3年または5年の期間、経営策定と就農定着を図ることを目的とした国の経営開始資金の支援を行っている。水俣市や芦北町、津奈木町の各農業委員会、JAあしきた等で構成する「新たな担い手確保対策プロジェクトチーム」において認定新規就農者が実際に就農するまでの期間、農産物の管理等や様々な研修を実施している。移住して就農する方に対しては、移住、定住支援のサポートを行っている。

子育て支援として
保育料・学校給食費の完全無償化を

平岡　朱　議員
（日本共産党）

出生数の減少に伴う子育て支援について

問　本市の年間出生数は2021年度118人、2022年度115人、2023年度69人と減少傾向にあるが、このことをどう受け止めているか

答　若者や子育て世代の転入者の確保や定住化を促す取組、子供や子育て世代のニーズに合った支援策の拡充を図る等、若い世代が水俣で暮らし子供を産み育てたいと思える環境づくりを進める必要があると認識している。

問　小中学校の再編等、今後の見通しについてどう考えているか

答　昨今の人口減少や少子化の状況、児童生徒数の推移をしっかりと見極め、再編等の必要性について慎重に検討する。

問　子育て支援として、副食費を含めた保育料を完全無償化してはどうか

答　完全無償化を行うためには財源の確保等が不可欠なので国等に対し機会を捉え支援を求めたい。

問　給食費の完全無償化を検討してはどうか

答　国において無償化が検討されているためその動向を注視し、市の財政状況も踏まえ考えていく。

問　今後、水俣市が考えているさらなる子育て支援策があるか

答　現在「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定中である。子供に関する施策に加え、教育、雇用、医療など幅広い施策を含む「こども施策」を検討し全庁的に取り組んでいく。

多様な性を生きる人たちが暮らしやすい社会の実現について

問　性別記入が必要な書類について見直しが行われているとのことであったが、その後の取組状況はどうか

答　令和5年3月に「申請書における性別記載欄の見直しに関する方針」を定め、性別記載のある申請書等について法的に義務付けられたものや業務上必要なものを除き、性別欄の削除、または配慮した記載を行うようにし、要綱等の改正に併せ順次見直している。

問　小中学校の制服等について、ジェンダーレスに配慮した制服にすることを教育委員会がリードする形で進めることができないか

答　校則の変更は校長の責任により行うものだが、教育委員会としても学校の取組が進むよう働きかけていく。

問　当事者の声を聞く機会を設けるなど市職員や教職員の研修の場を設けてはどうか

答　学校においてはLGBT当事者を招いた講話などの研修を実施している。市職員向けには人権だよりで啓発に取り組んでおり、研修の実施については考えていない。

問　水俣市がパートナーシップ宣誓制度を導入することで、制度を利用したいカップルの移住地の選択肢にもなり、「みんなが幸せを感じられるまち」になる。本市もぜひ制度の導入を進めてはどうか

答　同性婚に関して全国で訴訟が起こされており、東京高裁、福岡高裁においては最高裁に上告するなど係争中であることから、引き続き裁判や国の動向を注視していきたい。

水俣市文化財保存地域計画の文化庁認定を生かす施策を

藤本　寿子 議員
（I's 水俣）

水俣市こども家庭センターについて

問 こども家庭センターの機能はどのようか

答 妊娠期から子育て期家族の心配事に、保健師、社会福祉士、家庭相談員等が一体的に支援している。

問 相談は多くあるか

答 ひと月の相談件数が200件程度ある。

問 子供からの相談は受けるのか

答 来庁または電話やメールで受ける。

問 出かけていき話しを聞いているか

答 定期的かつ必要に応じ情報交換、共有をしている。

問 市民にこども家庭センターを知ってもらうことが必要と思う。今後の周知はどのように行うのか

答 引き続き、機会を捉えた周知、SNSでも周知する。

水俣の「自然」や「文化財」を生かした観光について

問 交流人口を増やすため「グリーンスポーツみなまた」の再整備は考えられないか

答 施設の整備費、維持管理費が想定され整備は難しい。ありのままの自然を生かした活用を考えている。

問 日本ジオパーク認定への動きをする中、観光に結びつけている自治体があるがどのように考えるか

答 地形・地質遺産に関する保全研究、教育やジオツアーなどが要件となっており、本市にはそぐわない面が多いと考える。

問 文化財を活用した観光ということでは、水俣市は文化財活用計画が文化庁の認定を受けた。水俣病関連遺跡について市民から保存と活用の要望が寄せられているが、市としての方向性はどのようか

答 まずは、把握調査が必要と考える。

（仮称）肥薩ウインドファーム及び（仮称）出水ウインドファームによる大型風力発電建設計画について

問 平通りは、道路下に上下水道管が敷設されており、住民から大型車両が、1日300台以上通るとなると影響はないのか心配の声が上がっている。何らか影響があると思うか

答 一般的には、大型車両に限らず、自動車が通行するため何らか影響があると考える。

問 湯の鶴温泉街の道路下について、市長意見では、「温泉送湯管が埋められているため大型車の通行量により破損が懸念される」とあるが、具体的にはどのように心配しているのか

答 民営団体が埋設した源泉送湯管であり、敷設以来数十年が経っており、大型車急増により、破損漏水などが懸念される。

問 市長にお願いしたい。建設予定地に再び足を運んでほしい。また、住民説明会に参加していただきたいが、どうか

答 現地へは必要であれば足を運ぶ。また説明会には、状況に応じ参加する。

問 業者の見解書を待つまでもなく、水俣市の各種計画と整合性があるか検証し、業者の計画に受け身にならず市として独自の見解を表明するべきと思うがいかがか

答 各種計画を踏まえ独自の見解は意見書として公表している。

グローバルな人材育成の推進に期待

桑原　一知 議員
（真志会）

台湾との交流について

問　市長はこれまで2回台湾を訪問しているが、主にどのような協議を行い、今後はどのように展開していくのか

答　1度目の訪台時には「台湾行政院環境部化学物質管理署」で署長や幹部の方々と面会し、台湾政府で企画する、研修やセミナーを水俣で受け入れるなど交流を深めていきたいとの言葉を頂いた。また「国立台北科技大学」を訪問した際は、学長と面会し、水俣の高校生の留学や企業へのインターンシップなど、ハイレベルな交流を進めたい旨の申し出を行い、水俣市が半導体人材の育成を目指すのなら協力していきたいとの言葉を頂いた。

2度目の訪台では「台湾ドラゴンボート協会」、「台中市政府」や観光関連の番組制作に出資を行っている「桂田文化芸術基金會」を訪問した。台湾ドラゴンボート協会では、台湾と水俣で、それぞれ開催される大会に出場し、人的交流を進めていくことを合意できた。

また、台中市ではスポーツや観光を中心とした交流について、継続して協議を行う。今後は、高度な人材育成に向けた台湾との連携を創出することや観光や経済面における台湾と水俣の新たな連携を目的に進めていく。

台湾ドラゴンボート協会との協議

湯の児開湯100周年と観光施策の方向性について

問　湯の児開湯100周年を迎え、どのような機運醸成の取組を行うのか

答　100周年用のプロモーション動画を作成し、市役所1階スペースや道の駅みなまた、湯の児渚の交番HIMETATSUでの放映に加え、観光情報サイトや各種PRイベントで発信している。

また市民を中心とした湯の児温泉の魅力を再認識と年間を通して誘客を図るため、記念式典の開催、記念品の作成をはじめ、タクシー補助による2次交通支援、開湯100周年記念ポスターなどによる周知を行い、機運を盛り上げていく。

農業振興について

問　地域計画を基に集落営農組織をつくることが重要である。どう取り組んでいくのか

答　策定した地域計画を基に地域の中心となる担い手や既存の集落営農組織に農地を集約するとともに、受け手が決まってない農地については、地域の声を伺いながら、基盤整備などの国や県の事業活用を検討し、新規就農者や新たな集落営農組織づくりに向けた取組を支援していく。

水俣市地域公共交通計画について

問　実証実験に基づき「ドアTOドア乗合タクシー」を本格稼働するということは、利便性向上につながり高く評価されると考える。これに加え、効率性のための取組も検討されているが、今後の展開は

答　乗合タクシーの乗合率を高めるため、予約型への転換を進めるほか、利用者の予約状況に応じて運行経路やスケジュールを決定するオンデマンド交通を、山間部を中心に導入していきたいと考えている。

人口、商店街、温暖化、学校、農業
令和７年度施政方針について

高岡　朱美 議員
（日本共産党）

令和７年度施政方針について

●活力生まれる水俣

問　エムズシティ周辺の活性化予算が盛り込まれた。空き店舗の活用に加えて公園化を前提にした解体補助をメニューに加えられないか

答　公園化するための財源確保が難しい。

●環境分野

問　環境モデル都市行動計画では、２０３０年までにあと３万５千トンのＣＯ２を削減する目標だが具体策は

答　令和７年度は計画の見直しをする予定だ。

問　燃やさないごみ処理施設を導入した自治体がある。１万１千トンのＣＯ２削減効果と建設費も半分と聞いた。調査のため職員を派遣してはどうか

答　まずは情報収集に努めたい。

●教育・文化分野

・特別支援教育支援員について

問　昨年、特別支援教育を受け持つ先生の大変さを訴え支援員の増員を要望したが、令和７年度の配置人数は

答　現場の要望、状況を勘案し昨年同様29人の予定だ。

●世界へつながる水俣

問　本市で働く外国人技能実習生の数は

答　98人である。

問　実習生は3年働き転籍自由になると、賃金の高いところに出てしまう人もいるが「水俣の人は親切だった。帰りたい」と連絡してくる人もいる。以前提案した空家活用による低家賃住宅を整備し、定住を促してはどうか

答　御提案の熊本県空き家活用促進モデル事業補助金には一定の条件があり難しい。

問　条件は制度設計次第でクリアできる。民間活用も可能なので、周知してはどうか

答　民間からそのような要望はない。

みなもんくらぶ主催のクリスマスパーティー

・文化財保存活用地域計画について

問　文化財保存活用地域計画が文化庁の認可を受けた。令和７年度の予定は

答　蘇峰・蘆花生家の耐震調査と官軍墓地アクセス道の復旧、情報発信を予定している。

問　計画を進めるには市民への十分な周知が大事だと思うが

答　広報連載、市民講座、展示会などしていく。御提案の自治会への説明は参考にする。

問　事前に行ったアンケートでは「未来に継承したい文化財」に「水俣病の教訓」が最も多く選ばれた。この声にどう応えるか

答　近現代の遺産の全容把握に努めたい。

・学校給食について

問　学校給食における地産地消の割合は

答　重量ベースで43％が水俣・葦北産である。

問　来年度からの学校給食費の補助増額を歓迎している。同時に、投入した公費が市外に流出しないよう１００％水俣産食材を目指した農業生産体制を構築できないか。食料生産は安全保障であり、公共事業に位置づけても不思議ではない。給食のメニューから作付面積を割り出し、耕作作業や育成を地元の建設業、農家、新規就農者などに委託するなどこれまでにないやり方を模索するプロジェクトチームをつくってはどうか

答　すでにプロジェクトチームを立ち上げており、その中で対応を考える。

湯の児・湯の鶴温泉への更なる観光客誘致に向けて

杉迫　一樹 議員
（I's 水俣）

水俣ONSENプロモーションについて

問　この事業の目的・内容と、これまでどのような取組を行い、今後の予定・実施スケジュールや発信方法はどうなっているか

答　令和4年度に湯の児・湯の鶴温泉が国民保養温泉地に指定されたことから、令和5年度にはパンフレット制作やホームページ・SNS発信を行った。今後はトレーニングリカバリーを絡めた旅行商品化に着手する。

問　令和7年度に開始予定の「温泉×スポーツ」リカバリープログラム事業の内容、企画コンペの結果・進捗状況はどうなっているか

答　アスリートを対象とした温泉、食事、トレーニング施設、自然環境を利用したモデルプラン造成が目的。（株）JTB総研に委託し、モニターツアーやワークショップを実施し課題を抽出したところ。

問　その課題の内容と解決状況、各種スポーツ団体への営業はどうか。また、いつ頃から実施できそうか

答　温冷交互浴のための水風呂がないことや、現地コーディネーターの育成などが課題だが、今ある資源の中でプランを考えたい。各スポーツ団体へは幅広い周知を図るため、今は種目を限定していない。開始時期は令和7年度秋頃を予定している。

問　湯の鶴温泉が、映画「すずめの戸締まり」の一部モデル地ではとの噂があるが、制作会社へ事実確認をしてみてはどうか

答　制作会社へ尋ねたい。

問　ユーチューバーへ動画撮影や投稿依頼をしてみてはどうか

答　働きかけていきたい。

総合体育館トレーニングルームの充実について

問　トレーニングルームの設置時期はいつで、その目的は何であったか

答　平成11年度に市民の健康づくりや熊本国体に向け整備した。

問　現在故障しているトレーニング機器の更新はできないか

答　令和7年度にランニングマシン購入の予算を計上しており、スポーツ振興くじ助成金の決定が出れば速やかに購入する。

問　今後の活用・充実についての見解は

答　今後、合宿等で利用されることも想定し、機能の充実を図っていきたい。

本市が管理している上下水道管の状況について

問　耐用年数を超えているものはどれほどあるか

答　上水道管は約28キロメートルあり、下水道管はない。

問　耐用年数を超えている上下水道管の更新状況はどうか

答　優先順位をつけ更新を行っており、点検・調査により異常が見つかった場合には順次更新している。

問　上下水道管の破損による道路陥没や水の噴出は本市でも起こり得るのか

答　起こる可能性はある。

問　仮に本市で陥没事故などがあった場合の市民への対応はどうか

答　早期復旧を図り、避難誘導や避難場所の確保。断水に伴う飲料水の確保等を準備している。

こどもまんなか社会の実現に向けて

吉野　誠　議員
（こども未来会）

子ども子育て支援事業計画について

問　こども子育て課、こども家庭センターができたことで、庁内や市内にどのような変化があったか

答　庁内横断組織として「こども子育て推進本部」や「プロジェクトチーム会議」を設置した。児童福祉と母子保健が一体となった相談支援体制の充実・強化、市内の学校や関係機関との連携強化が図られた。

問　計画どおりに進まなかった事業の原因と改善策はどうか

答　「放課後健全育成事業」において待機児童が発生している現状がある。

問　庁内のこども子育て推進本部とプロジェクトチームでは、どのような議論を行い、今後どのように機能していくのか

答　計画の骨子や体系、こども施策全般について検討を行った。

問　計画策定にあたり、どのような意見交換をしてきたか

答　「子ども・子育て会議」において、計画の骨子や体系を審議いただいたほか、市民アンケートや小中学生を対象とした「こどもアンケート」、パブリックコメントなどを通じ意見を求めた。「みなまた未来ラボ」や高校生アンケート、都市計画マスタープラン策定過程での声なども参考にしている。

問　第3期子ども・子育て支援事業計画において、どのような目標を設定し、どんな狙いがあるのか

答　「子育てしやすい環境だと感じる市民の割合を50％とする」ことなど、複数の指標を掲げている。子供の意見を反映しやすい仕組みづくりを目標に据え、全ての子供が幸せに成長できるこどもまんなか社会の実現を目指す。

問　今議会に提案されている「こども基金設置条例」の意義と目的は何か

答　こども基金を設置することで、ふるさと納税の寄附先を「こども施策」へ特化して選択できるようになり、こども施策の財源確保につながることを期待している。この財源を活用し、誰もが安心して産み育てられ、子供たちが地域に育まれる環境づくりに取り組む。

問　施策の実施状況や成果をどのように確認するのか

答　定期的に「こども子育て推進本部」および「プロジェクトチーム会議」「子ども・子育て会議」等で評価・検討を行う。総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略などの評価指標もあわせて成果を点検していく。

問　当事者、特に子供の意見をどのように収集し、今後の施策に反映していくのか

答　小中学生を対象とした「こどもアンケート」や「みなまた未来ラボ」などをこども施策の検討の際に反映していく。

問　「水俣市 こどもまんなか宣言」を行ってはどうかと思うがいかがか

答　今期の計画でも「地域全体でこども・若者を支え、育てる機運の醸成」を基本方針に掲げている。

他自治体の事例等も参考に、こどもまんなか社会の実現に向けた機運醸成をどう図るか、情報収集をしていく。

学校体育館の空調整備を

牧下　恭之 議員
（公明党）

帯状疱疹ワクチンの定期接種化について

問　昨年10月より任意の帯状疱疹ワクチン接種補助の接種状況はいかがか

答　令和7年1月末現在、生ワクチン接種が延べ141件、不活化ワクチン接種が延べ480件、合計延べ621件。

問　水俣市の任意接種の助成対象者は50歳以上となっているが、4月からの定期接種化は

答　厚生科学審議会で、帯状疱疹罹患者数が70歳代にピークを迎えるため70歳頃に十分なワクチン効果が発揮できるよう65歳と設定した。

問　4月からの定期接種補助は

答　接種費用の7割程度、生活保護世帯の対象者については接種費用全額補助の予定。

学校体育館の空調整備について

問　学校体育館の空調整備に特化した空調設備整備臨時特例交付金の認識は

答　災害時に避難所となる公立小中学校の体育館に空調を整備する際に、令和6年度から令和15年度までを交付対象期間として、国が、事業費の2分の1を補助するもの、従来よりも補助単価が引き上げられ、自治体負担額の100％に地方債の充当が可能となる。普通交付税措置で、地方財政に配慮されたと認識している。

問　臨時特例交付金の県内他市町村における活用状況はいかがか

答　本交付金を活用して、令和7年度に実施すると回答した市が1市、令和15年度までに実施予定と回答した市が3市、現在検討中と答えた市が7市だった。残り2市のうち、1市は、既に全校に設置済み、もう1市は、交付金を活用せず、令和7年度に起債によって全校に設置するとの回答だった。

問　計画的に学校体育館の空調整備に取り組むべきと思うが

答　本市の小中学校施設は、築30年以上経過した建物が約85％を占めている。児童生徒の安全確保を第一に考え、学校施設における非構造部材の耐震化対策である外壁等改修工事などを優先したい。

問　国の内閣府防災や文部科学省の担当部署と連携して、体育館の空調施設の最新の技術や事例を参考にすべきと考えるが

答　本交付金を活用した事業については、文部科学省及び熊本県からも、早期実施に向けた通知があっており、各体育館の築年数等も考慮した上で、検討してまいりたい。

防犯カメラ設置補助について

問　防犯カメラ設置補助の本市の考えは

答　防犯対策の取組の1つであると考えるが、本市では、自治会から防犯対策として防犯灯のニーズが高いため、防犯灯設置補助に取り組んでいる。

問　地域の安全・安心を向上させるためにも、個人住宅への防犯カメラやモニターつきインターホンなどの防犯設備の補助を実施すべきと考えるが

答　刑法犯認知件数も年々減少傾向にあり、個人住宅への防犯カメラの設置補助については、市内のニーズの状況や県内で実施している自治体の事例等を参考にし、検討したい。

消防団の役割と重要性

杉本　康宏 議員
（真志会）

消防団について

問　消防団とはどのようなもので、消防団員の立場はどのようなものか

答　消防団は、消防組織法に基づいて組織される市の消防機関で、消防団員は、特別職非常勤の地方公務員と位置づけられる。

問　現在の消防団員数はどのようになっているか

答　現在397人で10年前と比較すると、81人減となっている。

問　消防団員の報酬、退職報償金はどのようになっているか。けがの補償はどのようになっているか

答　団員階級で年額3万6500円、出動報酬は、火災の場合4時間以上になると日額8000円、訓練は日額1000円。退職報償金は5年以上10年未満で20万、30年以上所属すると68万9000円。けが等の補償は消防団員等公務災害補償があり療養補償、傷害補償、遺族補償などがある。

問　報酬や手当の充実負担軽減などの待遇改善は考えていないか

答　報酬は、消防庁が示す水準まで引き上げている。退職報償金は新たな区分を設け、本議会に退職報償金支給条例の改正案を上程している。負担軽減については、可能な限り配慮しているが、今後も団員の声に傾聴し、団本部と共に可能な部分を改善していく。

ネーミングライツ事業の導入について

問　目的及びこれまでの経緯はどのようになっているか

答　施設に愛称を付す対価料を徴することで財源の確保、施設の運営、魅力とサービス向上を図ることを目的としている。経緯については、以前に真野議員からの一般質問を受け事業の導入について研究を行い、水俣市ネーミングライツ事業実施要綱を定めた。

問　今後の予定はどのようになっているか

答　令和7年5月から約1か月間公募を行い7月に庁内で組織する審査委員会においてパートナーを決定する予定。その後、パートナーとの協議、契約が終わり次第、愛称の運用を開始する。

問　導入方式・契約期間はどうなっているか

答　市が対象施設を選定し、条件を付した上で、公募型と提案型の2種類を想定している。契約期間は原則3年以上でパートナーと協議の上決定する。

問　ネーミングライツ料にはどのようなものを考えているか

答　金銭及び施設で使用可能な製品や役務の提供を想定しており、施設の維持管理や効用を高めることに活用。

子供たちの学ぶ環境（学校）整備について

問　令和7年度に予定されているハード整備はあるか

答　水俣第二小学校の校舎外壁等改修工事、水俣第一小学校敷地内の旧校舎解体及び駐車場としての整備、袋小学校ワークスペースの空調整備などを予定。

問　子供たちの学びの環境整備の今後の対応はどうなっているか

答　水俣市学校施設等長寿命化計画等に基づき、施設状況や、築年数、児童生徒数の推移等も考慮しながら、教育環境の整備に適切に対応していく。

みなまた市議会だより No.102 2025年(令和7年)5月1日発行

議会の主な動き

（令和７年２月１日～令和７年４月30日）

２月４日　議会運営委員会
５日　全国市議会議長会評議員会（東京都）
７日　全国高速自動車道市議会協議会第51回定期総会（東京都）
12日　全国市議会議長会「第３回社会的な孤独・孤立問題に関する特別委員会」(東京都)
17日　市議会だより編集委員会
20日　議会運営委員会・全員協議会
23日　第52回市民駅伝競走大会
27日　議会運営委員会
令和７年第１回水俣市議会定例会開会
各常任委員会
３月11日　各派代表者会議・一般質問（～13日）
13日　議会運営委員会
14日　各常任委員会
18日　全員協議会
水俣市社会福祉協議会理事会
19日　議会運営委員会
令和７年第１回水俣市議会定例会閉会
市議会だより編集委員会
25日　令和７年第１回水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
水俣・芦北地域振興財団理事会
27日　水俣市社会福祉協議会評議員会
28日　市議会だより編集委員会
４月４日　市議会だより編集委員会
10日　「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン
市議会だより編集委員会
熊本県市議会議長会春季定例会（八代市・～11日）
12日　熊本県還暦軟式野球春季水俣大会
24日　九州市議会議長会（大分市）
27日　水俣市消防点検

令和７年水俣市議会定例会の日程(予定)について

定例会	会　期
６月定例会	６月 ５日から ６月26日(予定)
９月定例会	８月29日から ９月18日(予定)
12月定例会	11月27日から12月18日(予定)

※上記日程は変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

市議会ホームページから議会の動画や会議録をご覧いただけます！

水俣市　議会　検索

Q.市議会の様子を見てみたいけど？
A.当日の中継や過去の議会も見られます！

水俣市議会ホームページから
「議会インターネット中継」
をクリック！

Q.質問や答弁の内容を調べたいんだけど？
A.質問や答弁のキーワードで検索できます！

水俣市議会ホームページから
「水俣市議会会議録検索」
をクリック！

インターネット中継、会議録検索で不明な点は市議会事務局（TEL61－1661）までお問い合わせください

編集後記

新年度になり一か月、職場や学校など生活環境が大きく変わった方も多いのではないかと思います。昨今では「五月病」という新たな環境への不慣れやストレスから不調を起こす病が、この時期に限らず一年を通じて起こるものになっているという心配も聞かれます。

少しでも不安を感じたら、誰かに相談するのもよいと思います。家族や友人以外、全く関係のない他人のほうが相談しやすい方もあるかもしれません。そのときは市役所を頼ってください。市民の皆さんの困り事や心配を、各担当課が受け止め、丁寧に最良の方法をお示ししてくれます。

私ども議員も同様に、皆さんの心配や不安が少しでも軽くなるよう、お手伝いして参りますので、ぜひお声かけください。

今期の編集委員は今号が最後の仕事となりましたが、市議会だよりはこれからも、市民の皆様へ積極的に情報提供してまいります。

ありがとうございました。

編集委員（委員は五十音順）
委員長　木戸　理江
副委員長　平岡　朱
委員　岩村　龍男
杉本　康宏
藤本　寿子
森川　武治
吉野　誠

●お問い合わせ　水俣市議会事務局　〒867-8555 熊本県水俣市陣内1-1-1
TEL 0966-61-1661　FAX 0966-62-0987

みなまた市議会だよりは再生紙を使用しています。